



▲沖縄のエイサー
でままでの旅報
告スタート!



▲改めて環境を考える機会となったドイツ研修報告



▲村長賞を受賞した庄司勝さん(前田・八和木)。
細部までこだわった見事な作品です



▲迫力ある「飯坂太鼓」!



▲みんなの作品が入賞しました!



▲迫力を感じる比叢の三匹獅子舞



文化祭アルバム

さまざまな
発表・作品が集まった
2日間でした!



第30回記念 いいたて村文化祭



佐須の虎捕太鼓

1日目は、ステージで、小学6年生による「沖縄までの旅」、中学生による「ドイツ研修」の報告、小学生による合唱「ままでのロンド」、中学生の吹奏楽がそれぞれ行われました。続いて、村内外の17団体から神楽や三匹獅子舞、太鼓などの発表が行われました。今年は、避難先でお世話になっている福島市他の住民の作品や飯坂太鼓も出演し、会場を盛り上げました。また、東京新潟県人会によるおけさ踊りも披露されました。展示会場では、絵画や編み物、つるし雛など1000点以上の作品展示があり、来場者の目を楽せました。

子どもたちは、「パソコン教室」での英会話や「子ども広場」で、木のおもちや楽しく体験できる「いきもの部」・「かがく部」のコーナーなどで夢中になって遊んでいました。2日目は、引き続き作品展示や「子ども広場」が行われたほか、総合文化祭の表彰式が行われました。来場者からは、「華やかな作品が多くて楽しかった」「他のまちの作品もすてきだね」「ここに来たら知っている人ばかりで良い日になった」「愚真会のそばを食べると秋まつりって感じがするよ」と文化祭を楽しんだようでした。

「いいたて村文化祭」が10月26日・27日の両日、福島市の「パルセいいざか」で開催されました。毎年、秋に行っていた総合文化展を昨年「いいたて村文化祭」と銘打って再開したもので、今年は30回記念として、「感謝と元気の発信!」をテーマに行われました。館内では、伝統芸能を始め、文化団体・スポーツ団体などの発表や村民の文化作品展示のほか、避難先との交流として、福島市の住民の発表や作品展示などが行われ、多くの観覧者にぎわいました。